

特別養護老人ホーム第2春緑苑短期入所事業（空床型）運営規程

（事業の目的）

第1条 社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会が開設する特別養護老人ホーム第2春緑苑（以下「事業所」という。）が行う空床型の指定短期入所生活介護及び指定介護予防短期入所生活介護の事業（以下「事業」という。）は、当該事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の医師、生活相談員、介護職員又は看護職員、管理栄養士、機能訓練指導員及び調理員その他の従業者（以下「従業者」という。）が、要介護状態及び介護予防にあつては要支援状態にある高齢者に対し、適正な事業を提供することを目的とする。

（運営の方針）

- 第2条 指定短期入所生活介護の提供にあつては、事業所の従業者は、要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、要介護者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、要介護者の心身機能維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。
- 2 指定介護予防短期入所生活介護の提供にあつては、事業所の従業者は、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、要支援者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、要支援者の心身機能の維持回復を図り、生活機能の維持又は向上を目指すものとする。
- 3 事業の実施にあつては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

（事業所の名称等）

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 特別養護老人ホーム第2春緑苑
- (2) 所在地 春日井市下津町 500 番地

（従業者の職種、従業者数及び職務の内容）

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、従業者数及び職務の内容は、特別養護老人ホーム第2春緑苑に準ずる。

（利用定員）

第5条 事業の利用定員は、次のとおりとする。

- (1) ユニット型個室（空床型） 100名

(事業所の内容及び利用料等)

第6条 事業の内容は次のとおりとし、事業を提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額とし、当該事業が法定代理受領サービスであるときは、介護報酬告示上の額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

- (1) 入浴、排泄、食事等介護及び日常生活上の世話
- (2) 日常生活動作の機能訓練
- (3) 健康チェック
- (4) 送迎
- (5) 夜間看護体制

2 第8条の通常の送迎の実施地域を越えて行う事業に要した送迎の費用は、別表1のとおり徴収する。

3 事業所は、前項の支払いを受ける額のほか、次の各号に掲げる費用の額の支払いを利用者から受けることができる。なお、居宅費及び食費については、介護保険負担限度額の認定を受けている入所者の場合、その認定証に記載された金額を1日あたりの料金とする。

- (1) 食費は、別表2のとおり徴収する。
- (2) 居住費は、別表3のとおり徴収する。
- (3) 理美容代は、実費を徴収する。
- (4) 日常生活において通常必要となる費用で利用者が負担すべき費用は、実費を徴収する。

4 前各項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けるとする。なお、やむを得ない事情等により当該内容及び費用の変更がある場合には、あらかじめ利用者又はその家族に対し説明を行い、利用者の同意を得ることとする。

(緊急時等における対応方法)

第7条 従業者は、利用者の病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに嘱託医師又はあらかじめ定めた協力医療機関に連絡するなどの措置を講じ、管理者に報告しなければならない。

(通常の送迎の実施地域)

第8条 通常の送迎の実施地域は、春日井市、尾張旭市、名古屋市（守山区・北区・東区）とする。

(サービスにあたっての留意事項)

第9条 従業者は、利用者に対して従業者の指示に従ってサービス提供を受けてもらうよう指

示を行う。

2 従業者は、事前に利用者に対して次の点に留意するよう指示を行う。

- (1) 気分が悪くなったときは速やかに申し出る。
- (2) 入所生活の規則を守り、他の迷惑にならないようにする。
- (3) 共有の施設・設備は、他の迷惑にならないよう利用する。

(非常災害対策)

第 10 条 事業所は、防火管理についての責任者を定め、非常災害に関する防災計画を作成し、非常災害に備えるため、定期的に避難、救出等訓練を行う。

(虐待の防止のための措置)

第 11 条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- 1 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的で開催するとともに、その結果について、介護職員その他の従業者に周知徹底を図る。
- 2 事業所における虐待の防止のための指針を整備する。
- 3 事業所において、介護職員その他の従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的に（年 2 回以上）実施する。
- 4 前 3 号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

(その他運営についての留意事項)

第 12 条 事業所は、従業者の質的向上をはかるための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、事業体制を整備する。

- (1) 採用時研修 採用時
- (2) 継続研修 年 2 回

- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又は家族等の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族等の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容に含むものとする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人愛知県同胞援護会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附則

この規程は、令和2年8月1日から施行する。

(令和3年8月1日改正)

この改正は、令和3年8月1日から適用する。

(令和4年4月1日改正)

この改正は、令和4年4月1日から適用する。

(令和6年8月1日改正)

この改正は、令和6年8月1日から適用する。

別表 1

距離	金額
実施地域を越えた地点から片道 10km 未満	500 円
実施地域を越えた地点から片道 10km 以上	1,000 円

別表 2

食費	利用者負担段階 第 1 段階から第 3 段階	利用者負担段階 第 4 段階
	朝食	346 円
昼食	576 円	580 円
夕食	523 円	530 円

別表 3

区分	単位	利用者負担段階	金額
ユニット型 個室	一日	第 1 段階から第 3 段階	2,066 円
		第 4 段階	2,140 円
	半日	第 3 段階	1,033 円
		第 4 段階	1,070 円